



利用の手引き  
について

## 自己責任の原則

修学旅行にデジタルカメラを持参してもかまいません。  
ただし、**自己責任**です。

[例] うっかり落として壊した。  
[例] わざと落として壊した。  
↓  
いずれも自己責任です。

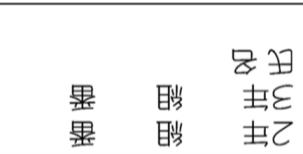


レンズ付きフィルム  
(使い捨てカメラ)  
で十分だよ。

## データの扱いは慎重に

画像データ(静止画・動画など)の管理は確実に行いましょう。  
今回の修学旅行で撮影された画像データ(静止画・動画など)については、インターネットへのアップ行為を**一切認めません**。

※アップとは、アップロードのこと。  
※モザイク等の加工したデータも含む。  
※本人の承諾があっても禁止。



運行の流れです。  
事務の手順立ての  
流れです。  
作成の手順立ての  
流れです。

撮影の禁止です。  
生人物の写真の  
撮影は不可です。  
**勿忘** 次第です。

## 有意味な活用を



## まとめ

## 撮影禁止の表示



**撮影禁止マーク**  
博物館では収蔵品の価値を守る為に撮影が制限されることが多い。寺院などにも撮影禁止場所がある。



**フラッシュ撮影禁止マーク**  
動物園では動物を驚かせないようにフラッシュ撮影を禁止している。

## 迷惑にならないように



人通りの多い場所での撮影には細心の注意を払いましょう。  
集合写真の撮影をお願いする時は後でちゃんとお礼を言いましょう。